

『いもうと』 赤川 次郎 著 新潮社

(分類:Fア)

大好きな姉に続いて母も亡くし、父は別の家庭へ。それでも強く歩んできた実加が直面する危険な恋、会社の一大プロジェクト、そして初めて会う<妹>…。大切な毎日に気づかせてくれる愛しい物語。「ふたり」の続編。



『ブラックリスト 警視庁監察ファイル』

伊兼 源太郎 著 実業之日本社

(分類:Fア)

大型特殊詐欺犯罪の捜査資料が流出し、資料に記された逃亡中の詐欺犯たちが次々と変死する事件が起きた。警察内部からの情報漏洩を疑う人事一課監察係の佐良は、マルタイの刑事を行確するが、突如何者かに銃撃を受け…。



『最果ての決闘者』 逢坂 剛 著 中央公論新社

(分類:Fア)

頭部に被弾し、記憶を失った新選組副長・土方歳三は<内藤隼人>と名を変え、時枝ゆらとともに米国西部へと渡る。過酷な旅路、先住民との戦闘…絶え間なく襲い来る危機から愛する者を守れるか。『中央公論』連載を単行本化。



『純、文学』 北野 武 著 河出書房新社

(分類:Fオ)

小説家・北野武の圧倒的な才能が詰まった短篇集。売れない芸人のグチが身体に響くラップ小説「ホールド・ラップ」ほか、全5篇を収録する。『文藝』増刊、『週刊文春』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。



『ゆゆのつづき』 高樓 方子 著 理論社

(分類:Fオ)

50代の翻訳家、杉村由々は、小学生の時に習ったピアノのソナチネを徹夜明けに弾き、小学5年の夏休み最初の日、自分が一番自分らしかった日をまるで昨日のこのように思い出し…。美しく切ない物語。



『ツナグ 想い人の心得』 辻村 深月 著 新潮社

(分類:Fオ)

一生に一度だけの死者との再会を叶える使者「ツナグ」。祖母から役目を引き継いで7年。歩美の元には、亡き人との面会を望む人々が、誰にも言えぬ想いを胸に秘めて訪れる…。『yom yom』掲載を加筆し単行本化。



『時を壊した彼女 7月7日は7度ある』

古野 まほろ 著 講談社

(分類:Fシ)

部活仲間5人が謎の爆発に襲われ、部長が亡くなる。未来から来た少女2人が、タイムマシンを爆発させてしまったのだ。部長の死をなかったことにすべく、彼らは過去を書き換えようとするが…。タイムリープ×本格ミステリ。



『背中の蜘蛛』 誉田 哲也 著 双葉社

(分類:Fテ)

東京・池袋の路上で男の刺殺体が発見された。捜査は難航するが、「あること」がきっかけになり捜査が急転。半年後、東京・新木場で爆殺傷事件が発生。再び「あること」が転換点となり容疑者が浮かび…。



『生命式』 村田 沙耶香 著 河出書房新社

(分類:Fド)

人口が急激に減り、人類は滅びるのでは、という不安感が世界を支配する時代。死んだ人間を食べながら、男女が受精相手を探す「生命式」が行われ…。表題作をはじめ、著者自身がセレクトした“脳を揺さぶる”全12編を収録。



『怪談飯屋古狸』 輪渡 颯介 著 講談社

(分類:Fマ)

幽霊話をすれば無代になる怪しい飯屋「古狸」。怖い話は苦手なのに、看板娘のお悧と無代飯に釣られて古狸に入り浸る虎太は、死神が棲むという家に行く羽目に。「不運な男」虎太はそこで何を見た? そして古狸の謎とは?



『皇居の歩き方』 竹内 正浩 著 小学館 (分類:933 デ)

東京の中心に位置する歴史の宝庫であり、かつ自然の宝庫である皇居。魅力的でありながら、秘められた興味深い事実が多い「最後の秘境」を、独自資料と古地図で案内する。



『認知症の人と一緒に作るアルバム自分史』

北林 陽児 著 翔泳社 (分類:914 シ)

アルバム自分史とは、写真と短いコメントだけで作る、アルバム形式の自分史。認知症の人と一緒にアルバム自分史を作る方法と、その活用法を紹介する。認知症緩和効果を高める聴き方も掲載。



『がんになったらまず読む本』 保坂 隆 著 朝日新聞出版 (分類:596 ウ)

「がん=死」ではない。がん患者と向き合ってきた精神科医が、「がんは慢性疾患ととらえる」「がんになった意味を考える」「最新医療が最善の医療ではない」など、がんと正しく向き合う47の心構えを教える。



『しぜんなおかし』 今井 ようこ 著 NHK 出版 (分類:778 キ)

てんさい糖やメープルシロップ、菜種油や豆乳…。植物性の食材を使った、作り方がやさしく、食べて体にやさしいおかし32品を紹介します。『NHK きょうの料理 ビギナーズ』連載に加筆して書籍化。



『『ハックルベリー・フィンの冒けん』をめぐる冒けん』

柴田 元幸 編著 研究社 (分類:910 マ)

「ハックルベリー・フィンの冒けん」とはどんな本なのか、どう読むのかを解説し、「ハック・フィン続篇」ともいべき作品群を紹介。編集段階で削除された「ジムのユウレイ」と、多くの版で省かれる「筏のエピソード」も掲載。



新しく入った 児童図書・YA (11/2) 予約受付いたします！

『ミライノイチニチ』 コマツ シンヤ 作 あかね書房 (分類: Eア)

未来の小学生、ミライ。朝はランドセル型ロボに起こされ、移動型教室のおむかえで登校。学校では無重力遊泳をしたり、むかしの都市を学んだり…。小学生・ミライの1日で、夢の未来をのぞいてみよう。見返しに未来の図鑑あり。

(小学校低学年～)



『みんなのおすし』 はらぺこめがね/作 ポプラ社 (分類: Eウ)

へい、らっしゃい！うちのおすしは、みんなのおすし。ちょっと変わったお客さんにも、ぴったりのおすしを握りますよー。おなかを空かせたお客が集まる、不思議なおすし屋のお話。ワイドページあり。(小学校低学年～)



『湖の国』 柏葉 幸子/作 講談社 (分類: Eタ)

学校もやめて、家でも邪魔者扱いをされて、介護施設でアルバイトをしていたミトは、気晴らしのつもりで東北に旅にでた。そこで出会った不思議な人物の正体とは。

「湖」の秘密とは…。珠玉のファンタジー。見返しに地図あり。(小学校高学年～)



『鬼遊び3 髑髏の手まり歌』 廣嶋 玲子作 小峰書店 (分類: 913ト)

ドクロの月が出た夜は、鬼が友だちさがしてる。秋の実りをあげるから、ずっといっしょにいておくれ…。知らずに鬼をよびよせてしまった子どもたちに訪れる「恐怖」を描く連作短編集。(小学校中学年～)



『マンボウは上を向いてねむるのか』

澤井 悦郎著 ポプラ社 (分類: 913オ)

2017年、マンボウが世界に3種いることを海外の共同研究者とともに突き止めた「マンボウ博士」の著者。次の研究の舞台に選んだのは水族館!? マンボウの本当の姿を追い求める水族館レポート。(小学校高学年～)

